

第 5 領域 「社会のグローバル化と学校・教師の課題」

宮 菌 衛

本科目は、3名の教員（相庭、金子、宮菌）が担当し、13名の受講者を対象に実施した共通必修科目である。平成28年度後期は、特定連携協力校・新潟市立浜浦小学校を授業会場として実施した。

本科目の到達目標は、以下の2点である。

- ① グローバル化社会における学校・教師が直面している実践的課題について理解を深め、その課題に関する実践的力量形成を図る。
- ② グローバル化社会において学校・教師に期待される役割について理解する。

1. 授業の実際

1) 「グローバル化社会」の背景とその構造の理解

本科目ではまず、私たちの生活する現代社会は「グローバル化社会」と称されているが、それはいかなる特徴を有する社会か、またそれはどのように展開しているのかという問いかけから出発した。そのために「グローバル化社会」を捉える社会的な見方・考え方に関する講義と、新聞記事を手がかりにグローバル化の具体的史的展開を検証する作業を行った。それらを踏まえて、実践的課題の現状分析や課題解決の在り方への理解を深める授業へと発展・展開した。

2) 実践的課題検討のためのフィールドワーク発表とゲストとの交流

上記1)の後、実践的課題検討のために、①院生が参加した中国の大学・小学校との教育研究交流・授業実践交流を中心とするフィールドワークの成果発表・意見交流、②民間ゲストによる国際理解・支援活動、③学内他部局教員による外国籍児童生徒のための日本語教育に関わるワークショップの活動等を組織した。

本科目の最後には、異文化交流・国際交流活動体験を、日本の子どもに伝え・理解を深めるための教材研究・授業開発の在り方について講義と意見交流を深めた。

2. 次年度の改善に向けて

今年度の授業構成の基本的枠組みを踏まえつつ、以下の点からの改善・見直しを図っていきたい。①ワークショップ形式演習の更なる充実。②新潟県内の学校や教師の国際理解・国際交流活動に関する実践活動・プラン等の実態調査とその分析・検討活動の組織。